

薬剤師のための症例報告・論文書き方講座

主催：公益財団法人日本薬剤師研修センター

近年の薬物療法は複雑化かつ高度化しており、薬の専門家としての薬剤師の関与がますます重要になっています。そのような時代にあって、薬剤師にはより安全かつ効果的な薬物療法を常に提供する専門家としての活動が求められており、それら実績を広く他の医療従事者と共有することがとても大切です。その方法として症例報告や研究論文の執筆・発表がありますが、大学での講義を含めて、薬剤師にはこれらを学ぶ機会が殆どないのが現状です。

本講座では小児に関する症例報告や論文の書き方を中心に諸先生に講義いただきますが、小児の症例に限らず応用できると思いますので、普段小児医療に関わっておられない薬剤師の方におかれましても是非とも本講座での学びを活かしていただければ幸いです。

【演題・講師（敬称略）】

講義1：イントロダクション～小児領域における専門薬剤師を目指して～（12分）

山谷 明正（明治薬科大学 薬学教育研究センター 教授）

講義2：症例報告・論文作成にあたって～小児領域における専門薬剤師になるために～（29分）

河田 興（摂南大学 薬学部 臨床薬理学 教授）

講義3：薬物動態検討の症例報告のポイント（28分）

斎藤 順平（国立成育医療研究センター 薬剤部 主任）

講義4：剤形・服薬支援検討の症例報告のポイント（27分）

丹沢 彩乃（国立成育医療研究センター 薬剤部 主任）

講義5：患者・家族支援検討の症例・事例報告のポイント（34分）

川名 三知代（日本薬剤師会 常務理事）

講義6：研究の進め方（35分）

山本 康次郎

（群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学分野 教授・医学部附属病院 薬剤部長）

【単位数】1単位（小児薬物療法認定薬剤師もしくは研修認定薬剤師の単位として算入可）